

# 地方偕行会の慰霊祭

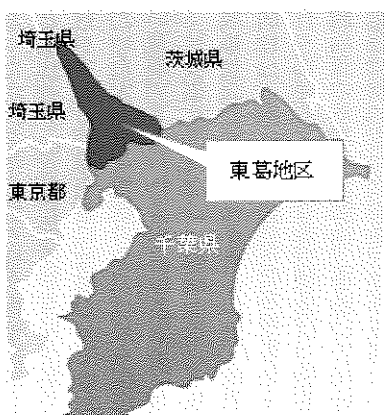
## に関する報告

千葉県偕行会東葛偕行会  
河野 芳久 陸自71

### 1 報告の趣旨

千葉県偕行会の下部組織であり、県北に位置する東葛偕行会（会長河村和甫。我孫子、柏、野田、流山、松戸、鎌ヶ谷各市）は、偕行社の活動方針に則り、毎年終戦記念日前後で会員の都合の良い日を選び、隊友会、遺族会、他の団体と協力し、慰霊碑（各市によって表現が違うので本文では慰霊碑とする）の場において、小規模ながら慰霊祭を主催、あるいはそれに参列している。

地方の偕行会活動の大きな柱は慰霊であり、これを何とか定着させていき



たいと私達は考えているからである。しかしながら、その実態はまだまだ不本意な状況で、毎年改善の努力を強いられているのが現状である。そこで恥を忍び、地方の立場で慰霊を行ってゐる当偕行会の状況を報告し、読者のご指導を受け、今後さらにこの運動を広げていく一助にできればと考えた次第である。

### 2 各市の慰霊祭の状況

東葛地区の各市では、秋に各市主催の追悼式が行われており、私達も参加している。しかし8月には、私達が関係する忠魂碑における慰霊祭が唯一の慰霊行事であり、会長・会員は居住地に関係なく、東葛地域の慰霊祭に参列することとしている。

各市の慰霊祭は、現在までの経緯がありその要領はさまざまであるので、タイプ別に分類してみた。

- 他団体主催のケース（我孫子市、野田市、流山市）

会長が来賓として出席し、慰霊の言葉を述べている。我孫子および流山市は、慰霊祭や慰霊碑の管理が主催者である神社にしっかりとなされており、今後も継続的に行われていくと考える。

しかしながら、野田市は遺族会が主催しており、近い将来には必ず偕行会等の力が必要になると考えている。



我孫子市：柴崎神社

- 隊友会および他団体との共催の慰霊祭

- ① 隊友会との共催のケース（柏市、鎌ヶ谷市）

柏市は、昨年から隊友会と協力して共催の形で進めており、会長が共催団体を代表して慰霊の言葉を述べている。偕行会の会員も隊友であるので、準備段階から密接に連携を取ることができ、準備会議等も問題なく行った。遺族会に関しては高齢化のため初夏

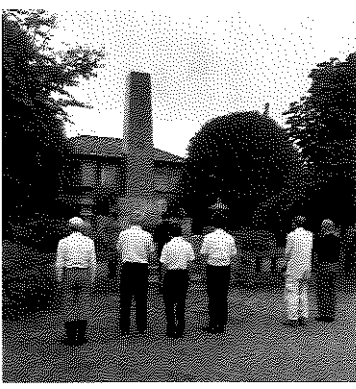


柏市：雨のため屋内での慰霊祭

の慰霊祭は自由参加になっており、昨年は数名の方が見えたものの、今年は参加されなかった。しかし、私達は、今後もこの方法で進めていく考えである。

鎌ヶ谷市は、今年初めて隊友会と同で参拝した。当市は、東葛借行会の活動している会員が少ない状態で、従来は単に参拝するだけであった。今回からお願した隊友会も慰霊碑がどこにあるかわからない状態だったが、草刈り及び清掃をした後の参拝は、簡素だったものの、来年からの慰霊祭の足掛かりにはなっただと思っている。

今回は、有志で参拝だけでもしようと呼びかけたが、慰霊祭の取りかかりのパターンとしては、良かったのではないかと考えている。



鎌ヶ谷市：初めての合同拝礼

② その他団体との共催のケース（松戸市）

松戸市は、従来は東葛借行会の主催

だったが、3年前から社会福祉協議会と遺族会との3団体共催という形で行っている。隊友会には協力していたが、東葛地区の中では最も幅広い基盤で支えられている慰霊祭である。社会福祉協議会は、組織上松戸市地域福祉課と深い関係があるので、結果的には市の協力を得ながら慰霊祭を行っていることになる。例えば、慰霊碑周辺の草刈り清掃は、事前に公園緑地課で行っていたとき、共催者側は当日のちよつとした清掃で十分な状態であった。



松戸市：隊友会の清掃状況

このような背景から、来賓には、市長、市議会議長をはじめ、地域福祉課を統括する健康福祉部長にも参列していただいている。一般市民が参加して慰霊するという形の一步手前まで来ており、今後は隊友会を加えてさらに拡大していきたいと考える。

### 3 今後の方向

近い将来、遺族会中心の慰霊は困難になるので、継続発展させるためには、速やかに現実的・組織的対応をとっていく必要がある。

#### ① 元自衛官の団結、協力

借行会および隊友会は、地方において多少の組織上の違いはあるものの、慰霊目的のためには、活動上協力していける素地は十分にできていると考えられる。したがって、今後慰霊を続けていくため、組織としての協力関係を深めていくことが大切である。私自身は、隊友会との共催という形を基本とするのが最も活動しやすいと考えている。

#### ② 遺族会、自治体及び関連団体との関係強化

##### A 遺族会

公園等にある慰霊碑については、直接的、間接的に遺族会が関わっていることが多く、この観点からもまず関係を強化していく必要がある。したがって、慰霊碑に関して何か動きをしようとする場合は、遺族会の了承を取っておくことが望ましく、そうすることで慰霊行事も円滑に行くと考える。

関係強化のためには、まず各自治体主催する秋の戦没者追悼式に出席し、顔つなぎを怠らないことが重要である。

##### 会福祉協議会

これらの組織との関係は、困難を伴うように感じるかもしれないが、私の経験からは意外にスムーズにいった。松戸市の場合、担当の地域福祉課の所掌事務の中に、

##### ・戦没者の追悼に関すること

・遺族援護及び戦傷病者に関することがあり、連携していくことは全く問題なかった。松戸市以外のその他の各自治体も同様だと推察する。ちなみに、私達は既に戦没者追悼式には参列している。

#### ③ 慰霊祭の広報

慰霊祭を行う場合、可能であれば自治体の記者クラブに取材依頼を出す。また、市の広報誌、社会福祉協議会の「社協だより」等も活用することが望ましい。

松戸市の場合、結果的には毎年1社ではあるが、取材に来ていただいており、結果的に東葛借行会等の活動内容も広報をしていたらいい。

以上、十分な慰霊行事を行っていないにもかかわらず、私たちの取り組みについて述べさせていただいた。この活動は、従前会員の方々のご努力のおかげで続いており、それを受け継いだ私達はさらに発展させていかなければならないと考えている。

皆さま方のご指導をお願いします。